

事務局だより I N F O R M A T I O N

風を切って



KIMASSI

Vol.154
January

K A N A Z A W A

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS
URL <https://www.kimassi.or.jp/>

2026年1月

金沢問屋センターニュース

- 新年互礼会
- 2026年の経済見通し
- 午年男大いに語る
- キマッシカップ・ボウリング開催
- 堀田先生のちょっとひと言
- 商団連福祉共済会からのお知らせ
- 事務局だより
- 褒章受章

11月

●10日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 出資金見合いの緊急融資について
2. 組合運営委員会より
 - (1) 町内一斉清掃について
3. 厚生委員会より
 - (1) 第18回キマッシカップ・ボウリング(第42回商社対抗ボウリング大会)について
4. 街力委員会より
 - (1) 金沢市卸売業組織力強化支援事業について
 - (2) 広報誌第153号について
5. 青年部会より
 - (1) 10月定例会について
 - (2) 11月定例会について

●25日 インフルエンザ予防接種 324名受診

●26日 インフルエンザ予防接種 348名受診

●27日 インフルエンザ予防接種 265名受診



今年は流行が早く、キャンセルや接種見合わせが相次いだ。

12月

●3日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 中間決算について

- (2) 新年互礼会について
 - (3) 景況調査について
 - (4) 生活習慣病予防健診について
 2. 組合運営委員会より
 - (1) 大ホールバルス照明のLED化について
 3. 厚生委員会より
 - (1) インフルエンザ予防接種について(結果報告)
 - (2) ボウリング大会について(結果報告)
 4. 街力委員会より
 - (1) 学童野球支援事業について
 - (2) 働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)について
 5. 問屋町交通安全対策協議会より
 - (1) 安全運転銘板の設置について
 6. 青年部会より
 - (1) 11月定例会について
 - (2) 1月定例会について
 7. 事務局より
 - (1) 事務局の年末年始について
- 9日~10日 働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)事業 視察取材



9日 (協)青森総合卸センター様訪問



10日 (協)鳥取卸センター様訪問

受章おめでとうございます

旭日小授章



協同組合金沢問屋センター
理事長

高桑 幸一氏

高桑理事長は、石川県間税会連合会会長や全国間税会連合会副会長を歴任し、永年にわたり税の重要性を周知する重責を担ってこられました。(株)キョー・エイの経営に携わりながら、当組合理事長をはじめ金沢商工会議所、石川県中小企業団体中央会、全国卸売業地協同組合連合会、石川県公安委員会などで数多くの要職を務められ、業界の発展のみならず、地域社会全体の振興に大きく貢献されました。

編集後記

コロナ禍以降、遅れを取っていた電子化であらゆる物事を効率化しようとしている。確かに徐々にではあるが、世の中、便利になってきている。ただ子どもの教育も同様、文科省は他国に遅れまじとデジタル教育に軸足を移そうと必死。しかし、その最先端を行っていた北欧諸国が実は、15年以上続けたデジタルから国営の教科書印刷会社をわざわざ設立してまでアナログに再シフトしている。子ども達の学力低下が深刻でその要因がデジタルと判断されたからだ。幸いにも周回遅れの我が国は、簡単に軌道が修正可能だ。にもかかわらず、なぜか方針を変えようとならない。教育は国の根幹。従来のアナログ教育を主としてデジタルを上手く活用する方向に進んでほしいものである。(T・K)

第18回 石川県新人学童野球選手権大会 兼 協同組合金沢問屋センター旗争奪大会

西南部サンボーイズが 15年ぶりの栄冠

11月1日(土)から、金沢市内川スポーツ広場にて県下16チームが参加して、5年生以下の新チームによる県大会である本大会が開催されました。

開会式では宮地学童野球連盟会長の挨拶に続き、当組合の田中清一副理事長が、選手たちへ熱い激励の言葉を贈りました。

11月15日(土)に行われた決勝戦は、西南部サンボーイズ(金沢支部)と中条ブル



ーインパルス(河北支部)が対戦。延長、再延長、再々延長と続く手に汗握る激戦の末、西南部サンボーイズが9対8で勝利し、15年ぶり2度目の優勝を果たしました。

閉会式では高桑理事長が選手一人ひとりにメダルを授与し両チームの健闘を称えるとともに、稀にみる接戦による興奮と感動を分かち合いました。

新年あけましておめでとございます。2026年の新春を迎え、皆さまに謹んでお祝いを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚意に対し心より御礼申し上げます。

2025年の振り返り

昨年の世界経済を振り返りますと、最も大きな話題は米国の動きでした。米国ではインフレが徐々に落ち着きを見せ、FRBが段階的な利下げへと転じたことで、企業の設備投資には明るい材料となったことや個人消費の底堅さにも支えられ、景気後退を回避してきました。その一方で再登板したトランプ政権は、国内産業の保護や貿易赤字の是正を目的として全ての輸入品に一律10%、中国からの輸入品には60%以上の関税を課す方針を早々に示し、世界のサプライチェーンに大きな再編圧力がかかりました。この影響は国・地域によってさまざまですが、中国は最大の打撃を



金沢信用金庫 西・問屋町エリア エリア長 寺嶋 聡

不確定性の時代、変化をどう乗り切るか

受け対米輸出が大きく減少、企業の生産拠点が中国から東南アジアやメキシコへ移る動きが加速しています。EU、特にドイツでは自動車産業への打撃が懸念され、欧州経済全体に「下押し圧力」となっています。こうした情勢の中で長期化する地政学リスクも絡まり、世界経済全体として先行きへの不透明感は強まりつつも、世界経済を牽引する米国経済が堅調に推移したことで緩やかな成長を維持した一年でありました。

国内では日銀による追加利上げが実施され、金融環境が「金利のある世界」へと転換した結果、日米の金利差縮小から円高方向への振れは見られたものの「為替相場の急激な乱高下」はなく、依然として円安基調は続いています。円安は輸出関連企業には追い風となりますが、輸入燃料・原材料・食料・資材価格等の負担が大きく、お取引先からは「仕入れ負担が重い」、「価格転嫁が追い付かない」という切実な声が多く寄せられました。また、10月には日本初の女性首相となる高市政権が発足し、経済安保と成長投資を軸にした政策が打ち出され、今後は半導体・AI・重要部材の国内産化支援、インフラ投資、防衛力強化など、国内回帰の流れが一段と強まる見通しとなります。こうした環境のもと、日経平均株価は史上初の5万円台を更新しました。この株価上昇は、日本企業へ

の期待が高まった結果とも受け止められますが、地域の企業経営の現場では実体経済との距離感を感じる場面も多かったのではないのでしょうか。総じて2025年の日本経済は外部環境の変化を受けながらも「緩やかな回復」を維持しました。

2026年の見通し

2026年の世界経済を展望すると、主要国ではインフレの沈静化から金融引き締め局面は一巡しており、成長率は安定するものの景気を大きく押し上げる要因は見当たりにくい状況です。米国経済は成長ペースが鈍化するも個人消費が底堅く、IT・AI関連投資や政府支出が下支えとなり、急激な景気後退は回避される可能性が高いと見られています。一方で通商政策をめぐる議論が再び活発化しており、関税や為替の動向は日本企業、とりわけ中小企業にとっては原材料価格や部品調達、物流コストを通じて企業収益に時間差で波及する点には注意が必要で、欧州では製造業の停滞や人口構造の制約からも低成長が続く見通しです。中国経済は不動産市場の調整が長期化、政府は景気下支え策を講じているものの成長率は低下する見込みであり、量から質への成長へと転換を進めいくと考えられます。インドやASEAN諸国は、人口増加と内需拡大を背景に主要国の中で高い成長を維持する見通しであり、サプライチェーン再編の受け皿としての役割も引き続き注目され、世界経済の成長を下支えする存在となるでしょう。

こうした世界情勢のもと日本経済に目を向けると、日銀は賃上げの動きが続く中で内需を中心に緩やかな回復基調を維持するとの見方を示し

ていますが、個人消費や設備投資には慎重さが残り、コスト上昇分を十分に価格転嫁できていない企業も多い状況です。物価上昇は一部落ち着いた見せ、一方で、賃上げの動きが定着、物価の安定と実質所得の改善を背景に個人消費の回復が期待されます。もともと、人件費の上昇は中小企業の経営にとって大きな負担となっており、持続的な賃上げには収益基盤の強化が欠かせません。「信金中央金庫地域・中小企業研究所」の調査では価格転嫁が一定程度進み製造業・非製造業ともに先行きは緩やかな回復を見込むとしています。原材料費や人件費の上昇分をどのように販売価格へ反映していくかが、引き続き事業経営の大きなテーマとなるでしょう。

北陸地域については、観光や個人消費、設備投資の持ち直しで景況感の改善につながっています。その一方で人手不足は多くの業種で深刻さを増し、特にサービス業や建設関連では事業運営に工夫が求められる場面が増えていきます。能登半島地震からの復旧・復興が進む中、人材確保や省力化への取り組みは事業成長を支えるポイントになるのではないのでしょうか。2026年の経済環境は決して楽観できるものではありませんが、同時に地域の中小企業の経営力が問われる局面でもあります。外部環境に過度に左右されることなく、足元の事業と財務を丁寧に整えていくことが持続した安定と成長に繋がるものと考えられます。

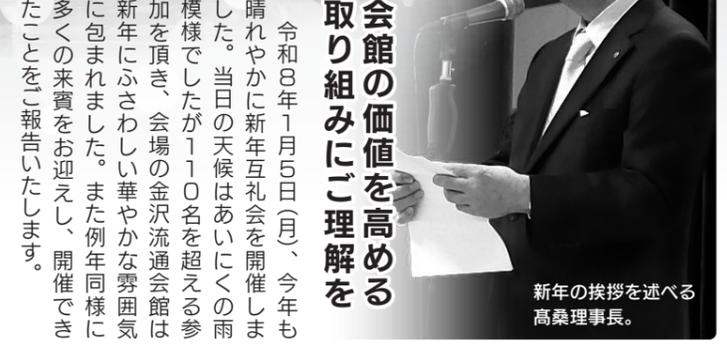
最後になりますが、皆さま方のますますのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

2026年のスタート 新年互礼会を開催



馳浩 石川県知事
県市連携や都市再整備等について

ご来賓の皆様から
ご祝辞を賜りました。



新年の挨拶を述べる
高桑理事長。

互礼会は国家斉唱、三原合同のご祝儀と進み、続いて当組合の高桑幸一理事長が次のとおり新年の挨拶を述べました。

「一昨年元日の能登半島地震および9月の豪雨災害からの復旧は依然として厳しい状況が続いており、一日も早い地域の再生が強く望まれます。世界情勢も大きく変化する中、昨年は大阪・関西万博の盛況や憲政史上初の女性首相誕生など、国内でも大きな動きが見られました。当組合におきましては、AI研修の拡充や講師派遣などの新たな取り組みを進め、組合員企業の皆様の業務改善に資する支援を行ってまいりました。

本年は金沢流通会館の大規模修繕という重要な事業に取り組み、より安全で快適な施設環境の整備を進めてまいります。工事期間中はご不便をお掛けいたしますが、



村山卓 金沢市長
県市連携や中小企業振興条例等について



小森卓郎 衆議院議員
より強力な補助金や実質賃金上昇の見込みについて



小竹凱 衆議院議員
AI利用のリテラシーや新たなインフラについて



宮本周司 参議院議員
補助金に加え、税制措置等による中小企業への後押しについて

会館の利用価値向上に向けた取り組みとして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、岡田直樹参議院議員よりメッセージも頂戴しました。続く懇親会では、乾杯の音頭を石川県中小企業団体中央会 米沢寛会長に務めて頂きました。また中締めは株式会社北國銀行 田中優太本店営業部長に行つて頂き、無事お開きとなりました。



乾杯の音頭は石川県中小企業団体中央会の米沢会長に。



和やかな雰囲気の中、さまざまな業種の組合員が集い親睦を深める場となった。

千年 男大いに語る



飛躍の年を迎えて

株式会社小山商会
代表取締役

小山 明久



謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご高配とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
株式会社小山商会 代表取締役の小山明久でございます。

2026年は丙午（ひのえうま）の年であり、私自身、年男として新たな節目の年を迎えることとなりました。年男は飛躍や変革の象徴とも言われており、本年はこれまで培ってきた経験と信頼を礎に、次の時代へ向けて力強く歩みを進める一年にしたいと考えております。

昨今は社会情勢や経済環境が大きく変化し、企業を取り巻く環境は決して平坦ではありません。そのような中であつても当社が事業を継続し、着実に成長を続けていくことができたのは、日頃よりご支援くださるお取引先の皆様、そし

て現場を支える社員一人ひとりの尽力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

また、当社が拠点を置く問屋町におきましても、関係各位のご努力により地域経済を支える商業拠点として着実な発展を遂げてまいりました。多様な企業が集い、相互に刺激し合いながら成長できるこの環境は、当社にとっても大きな力となっております。今後も金沢問屋センターの一員として地域との連携を大切に、そのさらなる発展に貢献していくことが、私どもの重要な使命であると考えております。

丙午の年にふさわしく、情熱と行動力をもって変化を恐れず、新たな価値創造に挑戦するとともに、品質・サービスの一層の向上に努めてまいります。また、人を大切にする経営を軸に、社員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりにも引き続き注力してまいります。

年男としての自覚と責任を胸に、私自身が先頭に立ち、誠実さと挑戦心を忘れることなく、株式会社小山商会、そして金沢問屋センターの未来に向けて尽力してまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、ならびに金沢問屋センターのさらなる発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

金沢市卸売業組織力強化支援事業

ワークショップ・個別相談会を開催

金沢市の補助を活用したワークショップ、個別相談会を11月10日から随時開催（前号に関連記事）。現場の課題に即した具体的な事例や手順をもとに、業務作業の効率化をはじめ、営業・広報、企画・経営の各領域におけるAI活用のヒントを分かりやすく紹介しました。

ワークショップ

初心者の方にも安心して参加頂けるよう少人数で実施し、実際の業務に近い場面を想定した学びの場とした。

個別相談会

各社の業務内容やPC環境に最適なAIツールの選定や導入方法、日常業務での具体的な活用例を提案させて頂いた。日程の関係で、複数の事業者様には個別相談会をご遠慮頂くこととなり大変申し訳ございませんでした。今後も最新の技術を体験できる機会を継続的に設け、皆様とともに成長を実感できる事業運営をめざしてまいります。

知っていますか？ 「子ども・子育て支援金」創設 本年4月から健康保険料に付加されます

社会保険労務士法人 クボマネジメンツ 社会保険労務士 堀田 幸男



堀田先生の
七よつとひと言

「ええっ、子ども・子育て〇〇金って、もうあるでしょ！」はい、それは、厚生年金保険料と一緒に払う「子ども・子育て**拠出金**」で、今回ご説明するのは、健康保険料の上乗せとして徴収される「子ども・子育て**支援金**」です。こちらは、政府が掲げる“こども未来戦略”により少子化対策の特定財源として新たに創設されたものです。両者の違いは、拠出金は社会保険料と併せて徴収されますが、法的には税金に分類され会社のみが負担します。一方、支援金は保険料扱い（健康保険料の上乗せ）なので負担は労使折半となっています。負担額は標準報酬月額（標準賞与額）×0.24%程度で、これを労使折半します（月給30万円なら月360円を労使で各々負担

するイメージ）。なお料率は固定ではなく、令和8年度から10年度にかけて段階的に上昇し、10年度には約1兆円の財源とする見通し。実務上の留意点として、支援金の開始は本年4月（5月納付分）ですが、例年同時期に社会保険料等の改定もあるため混同しないようご注意ください。また、従業員への説明責任から、給与明細への記載（「健康保険料（うち支援金〇〇円）」など）が推奨されています（記載義務なし）。さてこの支援金ですが、喫緊の少子化対策とはいえ保険料で徴収する人もいます。いずれにしても、中小事業者にとっては耳の痛い話です。

第18回

キマツシカップ ボウリング大会開催

第42回 商社対抗
ボウリング大会

第18回キマツシカップ・ボウリング大会が11月26日（水）、コロナキャットボウル金沢店にて行われました。16社30チーム90名（男性57名・女性33名）の出場で久しぶりにレインを賞し切ったの実施となり、参加者の笑顔が絶えない大会となりました。

今大会は団体、男子個人、女子個人の部、全ての優勝を（株）丸菱Aチームが獲得するという結果になり、特に個人の上位争いは熾烈でした。



【団体の部】
優勝 (株)丸菱A 1039点
(平均得点173.3点)
準優勝 (株)キョーエイB 918点
(平均得点153.0点)
第3位 北村電機産業(株)C 836点
(平均得点143.8点)



男子の部優勝の
金谷規正さん。



女子の部優勝の
田村優衣さん。

【個人男子の部】
優勝 (株)丸菱A 金谷 規正 369点
(190点・179点)
準優勝 北村電機産業(株)C 杉木 英介 367点
(158点・209点)
第3位 (株)丸菱A 木田 文彦 361点
(169点・192点)

【個人女子の部】
優勝 (株)丸菱A 田村 優衣 309点
(135点・174点)
準優勝 金沢機工(株)A 宮下 麻紀 303点
(163点・140点)
第3位 (株)キョーエイB 和島あかね 285点
(142点・143点)

商団連福祉共済会からのお知らせ

商団連3大疾病グループ保険のご案内

治療と仕事の両立をサポートする3大疾病グループ保険(会社掛)が令和7年4月に発足しました。従業員の皆様にとっても喜ばれる制度です。商団連グループ保険(会社掛)とセット加入でさらに福利厚生制度の充実を!

●3大疾病グループ保険(個人掛)の特徴

- ご加入者が、がん(悪性新生物)、急性心筋梗塞、脳卒中により約款所定の条件に該当されたとき、保険金をお支払いします。
- 治療と仕事の両立に寄り添い、力強くサポートする保険です。
- 3大疾病保障に特化した保障内容とスケールメリットにより掛金がお手頃です(死亡保障はありません)。

●加入対象者・ご加入コース・掛金について

- 当組合の組合員企業の役員・従業員
新規加入は満14歳6カ月超75歳6カ月以下の方、継続加入は満80歳6カ月以下の方が対象です。
- ご加入コースは、500万円、400万円、300万円、200万円、100万円の5コースです。
- 3大疾病グループ保険の掛金(保険金額100万円の場合)

保険金額	性別	保 険 年 齢							
		15~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51~55歳	56~60歳	61~65歳	66~70歳
100万円	男性	239円	349円	379円	536円	756円	1129円	1643円	2326円
	女性	256円	441円	531円	603円	722円	841円	1072円	1453円

※掛金は会社負担となります(福利厚生費)。掛金が従業員負担の3大疾病グループ保険(個人掛)もございます。掛金は会社掛と同額です。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)

〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4F TEL:03-6807-4335 FAX:03-6807-4336

パンフレット、お問い合わせは、組合事務局(076-237-8585)または商団連事務局(03-6807-4335)まで

住友生命職員が商団連団体保険のご案内で貴社を訪問させていただきますので、よろしくお願いたします。